

【アゼルバイジャン経済トピック第 118 号】

在アゼルバイジャン日本大使館

2022 年 12 月 13 日

日・アゼルバイジャン観光協力覚書の署名

12 月 13 日、奈良市において、両国政府の観光庁（日本側：和田観光庁長官、アゼルバイジャン側：ナギエフ国家観光庁長官）は、両国間の観光に関する協力覚書（MoC:Memorandum of Cooperation）に署名しました。

アゼルバイジャン政府は日本市場に強い関心を持ち、観光交流促進の 3 か年計画（2023～25 年）を立案しています。来春にはバクーで「Travel Business Azerbaijan」という観光見本市を開催し日本の旅行エージェントの参加を呼び掛け、また「ツーリズム EXPO ジャパン 2023」へも出展予定です。さらに 3 か年計画の最後には大阪・関西万博での観光 PR を位置付けており、アゼルバイジャン単独のパビリオンにおけるアゼルバイジャン人シェフによるスローフードの試食、伝統音楽やジャズのコンサート、両国文化イベントのコラボレーション等の諸企画を検討することの予定です。

アゼルバイジャンはコーカサス山脈やカスピ海の自然、独自の歴史、文化に恵まれ、バクー、シェキの世界遺産や、日本人の口に合う料理、コーカサスが発祥の地と言われるワインなど、魅力的な観光資源が数多く存在します。日本からアゼルバイジャンへの渡航者数はコロナ前に年間 6 千人と少ないながらも近年急増していたところ、今般の観光協力覚書を契機に、今後双方向の観光客のさらなる増加が期待されます。

皆さまもぜひアゼルバイジャンを訪問されますよう、お待ちしております。

（以上）